

咬合補綴治療の核心を学ぶことができる渾身の1冊

# 臨床 咬合補綴治療

## その鑑別診断と治療計画

今井俊広／今井真弓 著

咬合補綴治療の難易度は?  
なにを、どう診査していけばいい?  
症例に応じて治療計画はどう変化する?

補綴治療時に欠かすことのできない考慮事項である咬合  
その診査事項から鑑別診断、そして治療計画立案に至る  
咬合補綴治療の最重要ポイントを詳細に解説

●本書の見どころ

# 臨床 咬合補綴治療

その鑑別診断と治療計画

今井俊広／今井真弓 著



クインテッセンス出版株式会社

- 咬合補綴治療の目的と指標
- 咬合補綴治療の分類と治療の流れ
- 咬合補綴治療の診査事項
- 複雑な咬合補綴治療の進めかた
- 咬合補綴治療の基本事項
- バイオメカニカルストレス
- 中心位と生理的頸頭安定位
- 診断用模型の重要性
- アンテリアガイダンス
- 咬合高径
- TMD をともなった症例の補綴治療
- ブラキサーの補綴治療
- インプラント補綴治療と咬合
- スプリントの有効活用

●サイズ:A4判 ●312ページ ●定価:16,800円(本体16,000円・税5%)



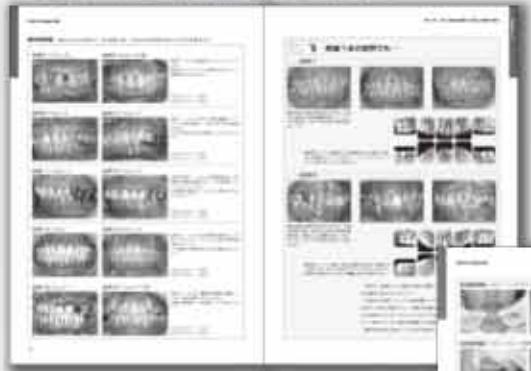
クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

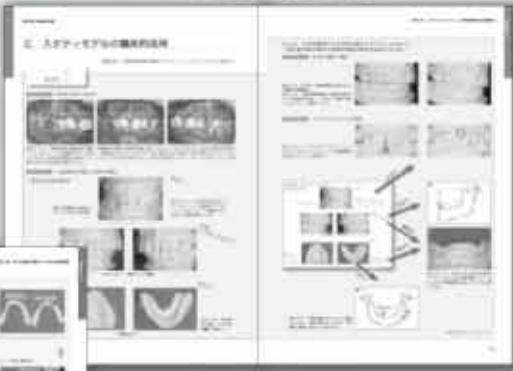
# 本気で咬合を学びたい読者へ贈る、咬合補綴治療のノウハウ

咬合補綴治療の鑑別診断を徹底的に学ぶ

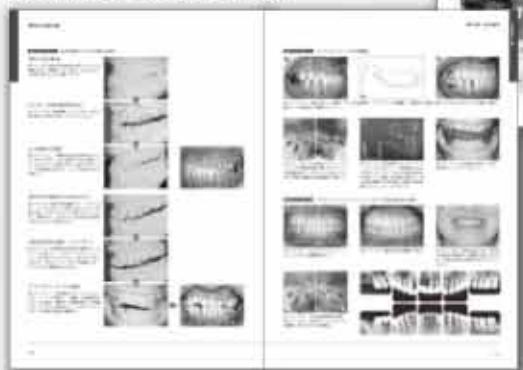


スタディモデルから症例の過去を読む

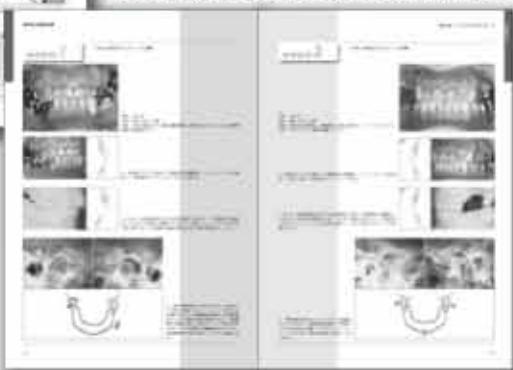
顎機能の診査に強くなる



咬合高径の設定にこだわる



類似症例の比較から難易度を把握する



## CONTENTS

### 第1章 咬合補綴治療の目的と指標

- 1.咬合補綴治療の目的
- 2.顎口腔系の生理的関係から咬合を分類する
- 3.咬合補綴治療の治療位はICP? CR? OR?
- 4.下顎位の生理的要素
- 5.咬合(歯単位)の基本要素
- 6.アンテリアガイダンスの有無と筋活性

### 第2章 咬合補綴治療の分類と治療の流れ

- 1.咬合補綴治療の分類
- 2.症例を分類し分析する習慣をもつ
- 3.分類ごとに必要な診査とは

### 第3章 咬合補綴治療のための診査事項

—症例に応じて必要な診査を見極める—

- 1.咬合補綴治療のための診査事項
- 2.一般検査
- 3.臨床的な診査
- 4.診査の流れと評価・診断の実際

### 第4章 複雑な咬合補綴治療の実際

—診査・診断の後、どのように治療を進めるか—

- 1.咬合補綴治療の流れ
- 2.治療目標と最終ゴールをイメージしたワックスアップ
- 3.プロビジョナルレストレーション
- 4.クロスマウントプロシージャー
- 5.補綴物のスプリント(固定)
- 6.咬合平面の角度設定と咀嚼ストロークの関係
- 7.咬合接触の与えかたと調節法

### 第5章 咬合補綴治療を行うにあたり知っておきたい基本事項

- 1.顎口腔系の機能 Function
- 2.生物学 Biology
- 3.補綴物の構造 Structure
- 4.エスティティック Esthetics

### 第6章 咬合によるバイオメカニカルストレスの臨床的影響

- 1.顎口腔系に生じるメカニカルストレスの影響
- 2.歯へのメカニカルストレスの影響
- 3.歯周組織へのメカニカルストレスの影響
- 4.筋肉へのメカニカルストレスの影響
- 5.頸関節へのメカニカルストレスの影響

### 第7章 中心位の定義と生理的頸頭定位の解釈

- 1.中心位の定義の変遷
- 2.頸間筋規格写真による頸頭の位置と症状の比較
- 3.頸頭の位置と咬合は関係があるのか?
- 4.エックス線画像だけでは頸頭位の判定が困難な症例もある

### 第8章 スタディモデル 診断用模型の重要性

- 1.咬合補綴治療におけるスタディモデルの位置づけ
- 2.スタディモデルの臨床的応用
- 3.咬合器に模型を被着する意義
- 4.咬合器の選択
- 5.バナデント咬合器

### 第9章 アンテリアガイダンス

- 1.アンテリアガイダンスの重要性
- 2.咀嚼ストローク
- 3.ディスクルージョン(臼齒離開)

### 第10章 咬合高径

- 1.咬合高径の評価の必要性
- 2.咬合高径の平衡理論
- 3.咬合高径決定の判断基準
- 4.咬合高径決定要素 各々の検討
- 5.生理的範囲での咬合高径変更の可能性

### 第11章 TMD をともなった症例の補綴治療

- 1.TMD と咬合の関係
- 2.TMD 症状を有する患者の補綴治療

### 第12章 ブラキサーの補綴治療の留意点

- 1.パラファンクションとは
- 2.水平的ブラキサー
- 3.垂直的ブラキサー
- 4.下顎の偏位や干渉歯の影響を受けたブラキサー
- 5.注意すべきパラファンクションの信号
- 6.パラファンクションの原因
- 7.パラファンクションヒストレス解消機構
- 8.ストレスと摩擦についての実験

### 第13章 インプラント補綴治療での咬合

- 1.インプラント補綴治療での咬合の留意点
- 2.ブリッジとインプラント補綴治療の選択基準

### 第14章 オクルーザルアライアンス

- (スプリント)の有効活用—
- 1.オクルーザルアライアンスの目的
  - 2.オクルーザルアライアンスの種類
  - 3.スプリントの臨床目的
  - 4.オクルーザルアライアンス(スプリント)の製作

きりとり線

注文書

## 臨床咬合補綴治療 その鑑別診断と治療計画

モリタ商品コード:805353

冊注文します。

●お名前

●医院名

●ご指定納入店

●ご住所

(〒 )

●TEL

●FAX

支店・営業所